

4. 本能がめざすまちの姿 - 『住みたいまち』

おつきあいを大切にして暮らしてきた文化をこれからも大事にしたい！

- ・ 本能学区はお仕事と住まいが一体となって暮らしている人の多いまちです。京染めをはじめ多様な伝統工芸の工房・工場，食料品・日用品の商店，こうした産業を支えるお商売（流通，建設業，各種サービス業など）は互いに何らかの関わりがあり，住民としても，商売としても，いつも顔を合わせる関係が培われていました。本音も言い合い融通もつけあう人間関係が，日々の生活の潤滑油となり，これを基礎に絆の強い自治組織が活動しており，子育てでも，防災・防犯の面でも，高齢者の一人暮らしの面でも安心できるまちとなっています。
- ・ 最近はマンションなどが増えて，新しくお住まいになる人も増えてきていますが，これまでのようにみんなが住みやすいまちであってほしいものです。そのためには，住民同士がつながり，お互いに意見を言い合える関係を，新しくお住まいになった人達も一緒に築いていけるよう，今後も心掛ける必要があります。
- ・ 本能学区で安心して楽しく住み続けるために，おつきあいを大切にする本能の暮らしの文化を大事にしたいと考え，今後も住民間の交流がたくさんあるまちをつつていきたいと考えています。



住民が増える良さをうまく受け止めたい

地域の活力づくりも，住み続けられるまちをつくるためには大切！

- ・ 元本能小学校は，地域住民が資金を出し合い建設したものです。本能学区の活発な経済活動は，地域の生活を守り，豊かにする重要な基盤です。
- ・ 近年地域の経済活動はやや低迷していますが，染めの技術などものづくりでは，全国に情報発信できるだけの力を持っています。今，新たにこの力を見直し，地域の特徴として様々な活動に活かしていきたいと考えています。そして，染めなどものづくりの良さの再確認，消費者が欲しがる商品の開発・流通の研究，伝統産業の良さに惹かれて本能に来る人（住む人）との交流などから，地域の産業を再び盛り立てることができればと考えています。
- ・ また新しくお住まいになる人は，食料品や日用品などお商売をされているお店にとって新しい顧客となる可能性があります。対面販売等を通じて顔見知りとなる関係が生まれると，それが，子供達への目配りや，高齢者への声かけ，あるいは生活情報の取得につながり，さらにまちが暮らしやすくなるのではないのでしょうか。
- ・ また，地域で現在仕事をしておられる職人のみなさんには“おいでやす染のまち本能”などの取組にすでにご参画いただいております。様々な立場から地域の活力づくりが始まっています。
- ・ 新しくお住まいの人も含めて，様々な活動の場でのお手伝いや企画などに参加する人が増えてくれば良いと考えています。
- ・ また新しい店舗や工房，情報発信の場づくりでは空き家やマンションなども活用ができればと願っています。



育てたいまち，働きたいまち，本能』とは -

このよう
なお付き
合いを望
んでいます

まずはお互い挨拶のできる関係づくりをしませんか。

- ・ 近年，マンションの数がとても増え，地域にとって，どのような人がお住まいなのか分からないという状況がありますが，新たにお住まいになった方も，この地域の生活・文化に関心をお持ちいただけることを望んでいます。
- ・ また，高さのある建物が建つことで，周辺の住環境を大きく変えてしまうという実態があります。新たな建物が建つのであれば，周辺への配慮のある，地域としてお付き合いしやすいものである事を望んでいます。
- ・ 私たちは，新しく住まわれる方々を含めて全ての住民が地域の自治活動の主役と考えています。住民みんなが安心して住み続けていけるよう，様々な活動を今後も活発に実施していきたいと考えています。



- ・ 本能学区が取組んでいる自治活動は，誰でも参加できるよう配慮していきましょう。またどんどん参加もしていきましょう。もちろん，人それぞれのお考えも事情も異なりますから，個人の意思を尊重し，無理をしないおつきあいを大切にしたいと思います。

まずは，お互い挨拶のできる関係づくりをしていきましょう！

他への配慮
を大切に
したい

調和のあるまちなみを求めていきたい

- ・ 本能学区のまちなみは変化していますが，それでも歴史を経て残った建物や子どもが昔は良く遊んだ路地などがあり，路地の奥には隣の路地と行き来できる木戸があって近隣の協力関係が偲ばれますし，まちなかには地蔵尊，道祖神などが祭られ，御世話をする人が必ずいます。
- ・ 本能学区としては，現在残っている昔ながらのまちの雰囲気や建物を大切にしたいと考えています。それは町家など建物を残すことだけではなく，京染めなど工場・工房が多数立地する地域として「お隣さんに配慮した建て方をする文化」，また家の前を掃き清め，植栽を飾るなど「通りへの配慮をする文化」などを継承していくことも大切と考えています。
- ・ 建物の形を規定するより，そうした配慮が感じ取られる建物を増やしていくことで調和のあるまちなみにしていきたいと考えています。

